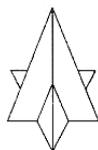


♪ドキドキ わくわく♪



チーム旭★

京都市立旭丘中学校  
学校だより 第8号・祝 卒業号  
校長:谷川 玲子  
令和8(2026)年3月12日

※ ルビ打ち(ふりがな入り)版もございますので、  
希望される場合は、ご連絡下さい。

# 卒業おめでとう！3年生のみなさん！

先日の「3年生を送る会」は、全校生徒が集まる最後の機会でもありました。これまで生徒会や学年で限られた時間の中で準備を進めてきてくれました。3年生への感謝の思いがあふれる1・2年生の姿、それをしっかりと受け止め、心から楽しむことで、応えてくれた3年生、そして旭中生みんなの心がひとつになり、笑顔にあふれた時間。卒業していく3年生にとっても、1・2年生や先生たちにとってもずっと思い出に残る、心温まる時間となりました。ありがとう！

今回は、卒業する3年生へ向け、各学年を代表して主任の先生方と教頭先生からメッセージをいただきました。



## 3年生のみなさんへ

3年学年主任 中原 大輔

3年生になってすぐの4月に、皆さんに話したことを覚えていますか？「今年は皆さんが15年間生きてきた中で、おそらく初めての経験をする年です。」という話をしました。それは一体どういうことかと言うと、これまでの人生では、6歳になったら小学生に、12歳になったら中学生になり、しかもどちらの学校でも毎年自動的に学年が上がっていく。そのため、来年以降の自分がどこでどうなっているのか、あらかじめ予想できていたはずなのです、今までは。

ところが、今年に限っては、来年の今頃に自分がどこでどうしているか、はっきりとは決まっていないのです。このことが皆さんの人生で初めての経験になるはず。という話でした。じゃあ、来年の4月に自分はどこで新しい生活のスタートを切るのか？それを決めるのは自分自身です、後悔のないようにしっかり考えて自分の進路を決めましょう。と話は続けました。

あれからあっという間に月日は過ぎて、もう中学校の卒業の日を迎えました。あの日決まっていなかった未来の自分、4月の新生活はもうすぐそこです。

そこがどこであろうと、自分で選んだ道ならば後悔はないはずです。もし不本意な結果でも、たとえ望み通りの結果でも、そこはあくまでも通過点の一つに過ぎません。あなたが4月に辿り着くその場所は、ゴールではなく、また次の場所を目指すための、新たなスタート地点です。まだ決まっていない皆さんの未来は大きな可能性にあふれています。例えば10年後、自分がどこで何をしているのか、も

う考えていますか？皆さんの中学生としての姿を見るのはこれで最後ですが、次に会うときはどんな姿を見せてくれるのか、今からとても楽しみにしています。

やがて来る皆さんの未来への期待を込めて、卒業おめでとう！

## 未来に続く道

2年学年主任 井上 千尋

3年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

旭丘中学校で過ごした時間は、人生の中のたった3年間という短い時間かもしれませんが、この3年間には、これから続いていくみなさんの人生の土台となる大切な経験がぎっしり詰まっているのではないかと思います。

ここで少し視点を変えて、人の一生を1日に置き換えて考えてみると、中学校で過ごした3年間は、ちょうど“朝の4時ごろ”にあたります。この時間、みなさんは普段どのように過ごしているでしょうか。ほとんどの人は眠っているはずですが、それはただ眠っているのではなく、その日1日を元気に過ごすためのエネルギーをしっかりと蓄えようとしている時間です。

今みなさんが旭丘中学校で過ごしてきた時間も、まさに同じです。これから先の人生をたくましく生きぬくための“力”を蓄える時間になっているはずですが、ここで得た学びや経験は、この先のみなさんの人生を、きっと豊かにしてくれます。これから先、悩んだり迷ったりすることがあっても、それは歩き続けている証。中学校での経験は、そんなみなさんをしっかりと支えてくれるはずですが。

みなさんのこれからの道に、たくさんの出会いと、たくさんの幸せがありますように。

心から応援しています。

## 未来に

1年学年主任 今井 宗岳

学校は、間違ふところ、挫けるところ、迷ふところ、  
友人との関係に、悩むところ、我慢するところ、悲しむところ、  
そんな経験をいっぱい、いっぱい、するところ。

そして、間違った分、正しさを知るところ、  
挫けた分、立ち上がる力をつけるところ、  
迷った分、前に進む勇気を持つところ。

悩んだ分、友人の大切さに気付き、  
我慢した分、人と向き合う大切さを知り、  
悲しんだ分、人に優しくなれるところ。



学校の3年間で学ぶことは、国社数理音美体技家英道という教科学習。

でも本当に学ぶことはもっともっとたくさんの、もっともっと大切なこと。

学校は、君たちのことを誇りに思ってくれる大人がいるところ、

学校は通っているときは、めんどくさいところなのに、離れたとたんに懐かしくなるところ。

3年間の時間の中で、皆さんは、多くの、正しさと強さと勇気を培い、大切な友と出会い、本当の優しさを知ったことと思います。

学校は、そこではぐくんだ経験と成長を、君たちのこれからに活かしていくためにあります。

ご卒業おめでとうございます。

君たちの未来が光栄に満ちたものであることを祈っています。

## **【当たり前】が【有り難い】**

教頭 小西 信行

3年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。いよいよ義務教育が終わります。長らく過ごした仲間、学び舎とお別れして、新しい世界へ出発です。

今まで当たり前と一緒に過ごした仲間や先生と毎日会うことは無くなります。また、旭中の教室や図書館、体育館をみなさんが使うことも無くなります。つまり今まで「当たり前」だと思っていたことが、これからは「滅多にない」＝「有り難い」に変わります。これは言い換えると、今まで「有り難い」の中で過ごしてきたということではないでしょうか。

例えばどこか知らない街で道に迷っているとき、偶然知り合いに会うとすごく安心するでしょう。その人が道を知っているとすごく助かるでしょう。そして自然と感謝の気持ちが生まれるでしょう。しかし、いつもの街でいつもの知り合いに出会っても何も感じないかもしれません。のどが渇いているときにコップ一杯の水はすごく有り難いですが、水道水に毎日感謝する人は少ないでしょう。

「いつも通り」は安心ですが、「有り難い」とは思わないかもしれません。「当たり前」と「有り難い」は紙一重です。

旭丘中学校を卒業するみなさんはこれから新しいステージに旅立ちます。新しいステージで過ごすことが「当たり前」になります。でも本当は新しい「有り難い」の中で過ごしているという捉え方もできるのではないのでしょうか。

新しい環境が楽しいときもつらいときも、その環境が実は「有り難い」環境であることを思い出し、その環境の「有り難い」ところを見つけてください。その環境から離れる前にその環境のありがたさに気づいて感謝の気持ちをもってください。

卒業生のみなさんの今後のご活躍を祈念しています。

令和7年度 旭丘中学校 第78回 卒業証書授与式 3月13日(金)午前9時30分開式[本校体育館]  
3年生保護者の方は、午前9時20分までに、体育館内にご着席下さい。

\*上履きは不要です。(フロアにシートを敷いております)

\*換気等のため、冷え込むことが予想されます。温かくしてお越しください。

\*お車でのお来校は、ご遠慮下さい。(自転車・バイクは指定の場所にご駐輪下さい。)

★ 卒業生 … 午前 8:45 自教室集合

★ 式に参列する在校生 … 午前9:00 1年2組 教室集合

※式に参列しない在校生は、「家庭学習」となります。



いよいよ明日は、卒業式本番ですね。

小学校3年生の終わりからコロナ禍に見舞われ、特に上級生としての3年間の小学校生活では、多くの制限を受けてきたみなさん。中学校に入学し、やっと制限のない学校生活が戻りましたね。

1年生の頃から、しっかりルールを守り、自分達で正しく判断できる良い集団になりつつあることを感じていましたが、3年生になり、修学旅行でみなさんと2泊3日一緒に過ごさせてもらった際、誰もがルールや時間をしっかりと守りながら、自主的に行動する姿を見て、本当に素晴らしい学年に成長してくれたこと、1年生・2年生の時に、しっかりと「土台」を作ってきた学年であることを実感しました。

そんなみなさんが、体育祭ではリーダーとして下級生を引っ張ってくれたことで、全校みんなが体育祭を心から楽しむ姿を見ることができ、合唱コンクールではレベルの高いクラス合唱に加え、学年合唱「群青」では、会場にいるすべての人が心を震わせる圧巻の歌声を聞かせてくれました。そして、行事だけでなく、その後の学校生活でもみなさんは、いつも、1・2年生にとって憧れのかっこいい先輩でした。入学してきてから3年間、色々な経験を通して、立派に成長していくみなさんの姿を見せていただくことができ、本当に幸せでした！ありがとう♥旭中での3年間が少しでもみなさんの成長につながり、「旭中に入学して良かった」と思ってもらえたなら、これほど嬉しいことはありません。

明日の卒業式では、これまで頑張ってきたみなさん一人一人に、心から感謝と祝福の思いを込め、卒業証書を手渡したいと思います。みなさんも、これまで見守り育てて下さったお家の方への感謝の気持ちを、保護者席までしっかり届く返事や歌声、そして立派な態度で伝えてくれると確信しています。みなさんが光り輝き、立派に巣立ち行く姿を見せていただけることを、心から楽しみにしています。

最後になりましたが、保護者の皆様には3年間、いつも温かくご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。お忙しい中とは存じますが、明日はぜひ、立派に成長されたお子達の晴れ姿をご覧いただきたく、ご来校をお待ちしております。どうぞよろしくお願い致します。

令和8年3月12日

校長 谷川 玲子